

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願い-

国立国際医療センター精神科リエゾンチームでは、チーム介入を行なった患者に関する情報を収集し、下記の研究を実施します。

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問合せ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報を「この研究に利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の問合せ担当者までお申し出ください。その場合でも不利益が生じることはありません。また、研究の対象者が未成年の場合は、保護者等からのお申し出もお受けいたしますので、その際も下欄の問合せ担当者までお申し出ください。

[研究課題名] 一般病院における精神科リエゾンチーム介入の有用性の検討

[研究対象者]

研究対象期間内（2016年5月1日～2025年3月31日）に精神科リエゾンチーム介入を行なった入院患者の方。

[利用する情報の項目と取得方法]

情報等：GAF（Global Assessment of Functioning）得点、チームの介入概要、患者背景情報など
診療記録から上記に該当する情報を収集し利用します。

[利用の目的]

精神科リエゾンチームの介入開始時と介入終了時のGAF得点の変化について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 研究の実施許可日より2026年3月31日までの間（予定）

[この研究での情報の取扱い]

本機構倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、利用・提供する情報から氏名、生年月日等の情報を削除し、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱います。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問合せ担当者]

機関長：国立健康危機管理研究機構 理事長 國土 典宏

研究責任者：国立健康危機管理研究機構 心理療法室 心理療法士 曽根英恵

研究内容の問合せ担当者：国立健康危機管理研究機構 心理療法室 曽根英恵

電話：03-3202-7181（代表）（応対可能時間：平日9時～16時）

作成日：2025年 6月 23日

第 1.0 版